

事務事業名 幡屋地区基幹農道整備事業(負担金)		所属部 産業振興部	所属課 農林土木課
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 農林道G	課長名 渡部克彦
	施策名 (36)農業の振興	担当者名 小田川博志	電話番号 0854-40-1053 (内線) 2402
	目的:対 市内の農家 意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 6 県営農道整備事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 3 5 基幹農道整備事業負担金	
	目的:対 担い手農家・担い手以外農家 意図 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 31 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
農業生産の近代化及び農業生産物等の流通の合理化を図るとともに、農村地域の生活環境の改善を図り、基幹的な農道の整備を目的としている。
延長;2.190m 幅員;5.5(7.0)m 受益面積;180ha

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 工事説明会、立会、負担金支出	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 工事説明会、立会、負担金支出			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 地元説明会	回	2	3	3	2
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	農業従事者	ア 関係農家戸数	戸	200	200	200	200
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
・農道整備が円滑にできるよう促す ・通作、農業輸送の労力を軽減する ・地域間の交流が容易にできる	ア 工事進捗率(事業費)	%	20.0	30.0	35.0	50.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
・幡屋地区(道路工 L=700m、橋梁工1式); 20,300千円 (負担率10%)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	14,200	11,400	20,300	30,000
		その他	千円				
	一般財源	千円	0	22	0		
	事業費計(A)	千円	14,200	11,422	20,300	30,000	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	20	30	30		
	人件費計(B)	千円	78	117	117		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,278	11,539	20,417		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農村漁村交付金事業について、全体的に予算の増額がないため、予定通りの事業実施年度となるか不明。	特になし	要望した地域からは、事業が開始されて良かったとの声が大勢である。

事務事業名	幡屋地区基幹農道整備事業(負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国の採択を受けた計画路線を整備しており、地元要望等を精査しながら事業実施が行われている。本事業により、全路線が十分に整備され、農作物の流通ルートなどが更に向上する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	定率負担を行なっている。(10%) 経済的な工法の選択により事業が実施されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
安定した流通ルート確保のため、今後も継続的な農道整備が必要とされている。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						